



平山 清海 議員



消防団員の確保対策を

問

地域防災にとって消防団員は欠かせない存在だと思うが、担い手を確保するためにどのような対策を考えているのか。

答

消防団に入団しやすい環境づくりとして、平成30年から旭市消防団サポート店制度を実施しており、消防団を応援したいという市内の協力店に、消防団員やその家族が証明証を提示することで、各店舗独自のサービスが受けられるようになる。また、平成28年から消防団恋愛事業を実施しており、団員の出会いの場を設けている。

問

消防団活動において、どのような点に注意しているのか。

答

ポンプ操作の訓練は夜間の実施が多く、また他の訓練も休日に実施しているので、団員の精神的・肉体的な負担を軽減するため、時間を制限・短縮して実施していく。



日頃の訓練成果を発表する消防操法大会

子どもたちの安全確保のために

問

中央小学校東側の横断歩道について、これまで何度も質問してきたが、まだ消えたままになっている。千葉県警のほうですぐに塗装の引き直しをしてもらえないのならば、特に小学校周辺の横断歩道だけでも、市の予算で塗装の引き直しはできないのか。

答

旭警察署に確認したところ、横断歩道の塗装の引き直しは千葉県警察本部が実施しており、市で対応することはできないとの回答があった。早急な対応をしてもらえるよう、市としてもさらに要望をしていく。

その他の質問事項

- 旭市の防犯カメラについて
- マイナンバーカードについて

投票率向上の取り組みを

問

銚子市では、イオンでの期日前投票所に加え、車両による移動期日前投票所を開設した。本市においても投票所の数が激減し、高齢者は投票所に行くだけでも大変だと聞いているが、このような取り組みができないか。

答

現在市では、投票所19か所のほかに、期日前投票所として各地区に1か所ずつ、計4か所を設けているため、商業施設や移動投票所というのは考えていない。

問

投票率を上げるための手段として、本市ではどういったふうに考えているのか。

答

若年層に向けた新たな取り組みとして、今年2月から選挙管理委員会のツイッターアカウントを開設し、選挙啓発または選挙に関する情報発信などを行っている。そのほか、市内の高等学校に訪問して模擬選挙などを行い、投票率の向上を図っている。

横断歩道の引き直しを

問

学校周辺の横断歩道について、摩擦などにより消えかけている箇所がある。歩行者の安全確保はもちろんのこと、運転手側としても、横断歩道が見えにくいことで道路交通法の違反行為を犯してしまう可能性も危惧されるので、早急に塗装の引き直しをするべきでは。

答

道路パトロール時などに、横断歩道の状態についても重点的にその位置や状況の把握に努め、旭警察署へ情報提供をして補修などをお願いする。



一般質問後に引き直しがされた中央小東側の横断歩道

その他の質問事項

- 新型コロナウイルスについて